

展覧会スケジュール EXHIBITION SCHEDULE

■印は休館日

※各種展覧会の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。 ※記載内容に関しましては、変更される場合がございます。

開館日のご案内	2024							2025						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7		
平山郁夫	仏会 一仏に会おうー							平山郁夫の色彩						
	3月30日(土)~7月7日(日)							7月13日(土)~12月8日(日)						
佐藤忠良	静と動							彫刻家のアトリエ						
	3月30日(土)~6月9日(日)							6月15日(土)~12月8日(日)						
楽直入	茶陶の美							創造の美						
	3月30日(土)~9月23日(月)							10月5日(土)~2月24日(月)						
								まとう彫刻				コーナー展示		
								12月19日(木)~2月2日(日)				2月4日(火)~5月6日(火)		

EVENT	立礼呈茶	友の会	きつぎみゆーじあむ	トワイライトコンサート	学習支援講座 美学
要予約	6月22日(土)・9月14日(土)・2月1日(土)	会員限定プロンズ鑑賞会 6月15日(土)・16日(日)	ワークショップウィーク 8月1日(木)~4日(日)	9月7日(土)・10月6日(日)	全5回 10月19日(土)・26日(土) 11月2日(土)・9日(土)・16日(土)

※各イベントの詳細はホームページでご確認ください。

第16回
子ども絵画コンクール
優秀作品展
2月4日(火)~2月24日(月)
未来ある子どもたちの夢と希望
あふれる絵画優秀作品75点を公開
募集期間：7月1日(月)~11月18日(月)

2025年度
春季企画展予告
わけあって絶滅しました。展
3月8日(土)~5月6日(火)
※会期が変更になる
場合がございます。

ポケモン × 工芸展

ー 美とわざの大発見 ー

3月30日(土)~6月9日(日)

今やゲーム、アニメなどを通して世界中で人気を博す「ポケモン」。そのポケモンと工芸が出会うと、どんな「かがく反応」が起きるのか？この問いに現代日本の工芸を代表する20名のアーティストが挑戦。ポケモンの姿かたちや繰り出す技、旅の舞台などをテーマに作家の「真剣勝負」が繰り広げられました。本展では陶磁器、木工、漆工、染織をはじめ多種多様な素材と技法を用いて制作された新作を含む約70点を展覧します。一見、意外な組み合わせに見える二つの世界観が生み出す「かがく反応」を存分にご堪能ください。



榎本佳子『リザードン/信楽壺』2022年 個人蔵
©2024 Pokémon. ©1995-2024 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
©榎本佳子 TM, ®, and character names are trademarks of Nintendo.
撮影 齋城卓

高山辰雄展

7月13日(土)~9月23日(月)

画家・高山辰雄(1912-2007)は、人間の精神性に触れるような画風や色彩感覚によって独特な世界観を表現し、現代日本画壇を牽引してきました。その深い精神性を湛える絵画作品は、いまなお高い評価を受け続けています。本展では70年以上に亘る画業の中から、代表作《聖家族》を一つの頂点として、《聖家族》制作に至るまでの人物像を中心に展覧します。ひたすら研鑽に励んだ学生時代の作品、ゴーガンへの傾倒など、高山の制作における画期となる作品を紹介し、高山が追い求めてきた日本画の境地を明らかにします。



高山辰雄《明けの星》1989年 個人蔵

北欧の神秘

ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画

10月5日(土)~12月8日(日)

19世紀後半から20世紀初頭にかけての北欧の絵画芸術に焦点を定めた画期的な展覧会。ノルウェー、スウェーデン、フィンランドの北欧3か国の国立美術館から、エドヴァルド・ムンク(1863-1944)を筆頭に各国を代表する画家たちの作品約70点が一堂に会します。北欧ロマン主義の誕生、北欧の自然、古くから伝わる神話やおとぎ話、村や街に暮らす人々という4つの主要なテーマに沿って、各国の気候・風土、歴史や文化を反映する詩情豊かな絵画作品をご紹介します。北欧絵画芸術との新たな出会いをお楽しみください。



テオドル・キッテルセン
《アスケラッドと黄金の鳥》
1900年 ノルウェー国立美術館蔵
Photo: Nasjonalmuseet / Børre Høstland

さがわきつぎみゆーじあむ 展示イベント

つくる展

12月19日(木)~2月24日(月)

世界に誇れる日本のものづくりを、さらに元気にしているアートファクトリー「TASKO」。彼らのユニークな発想力と優れた技術力は、これまで様々な企業やアーティスト、デザイナーとのアイデアをカタチにし、幅広い分野で多くの作品を手がけてきました。本展覧会では、現代アートとして見応え充分でありながら、ものづくりにおける「つくる」にスポットをあて、TASKOがこれまでに制作してきた作品を展示し、多様な視点で「つくる」の魅力を紹介します。「つくる」ってどういうことなのかを理解し、「どうつくる？」を考え、「つくりたい！」きっかけを見つけられる展覧会です。



Untitled (Making #235), 2021 © Gottingham
Image courtesy of TASKO and Studio Xxingham

SCHEDULE OF THE MUSEUM

ミュージアムカレンダー

2024

2024.4-2025.3



美術館のご案内

- 開館時間** | 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** | 毎週月曜日(祝・休日にあたる場合はその翌日)、展示替期間、年末年始 開館カレンダーをご参照ください。
※臨時休館する場合がございます。
- 入館料** | 一般1,000円 高大生600円 ※要学生証提示
中学生以下無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※企画展開催時は、その都度定める料金。
※WEB事前予約制を実施している場合有。
障害者手帳をお持ちの方(要提示)、付添者(1名のみ)無料
- 友の会会員募集のご案内** | 一般会員/年会費 3,000円
特別会員(個人、法人)/年会費 30,000円
※(年間を通じて入館料無料)等の特典がございます。
詳しくはお問い合わせください。

■ お車ご利用の場合

駐車場有70台 **駐車料無料** ※美術館入館者

大阪・京都方面ルート
 名神京都東IC → 約40分 → 佐川美術館
(湖西道路與野出口/琵琶湖大橋経由)
 名神瀬田西IC → 約30分 → 佐川美術館
(湖周道路経由)

名古屋方面ルート
 名神高速 → 名神栗東IC → 約30分 → 佐川美術館
(守山・栗東線経由)
 新名神高速(草津JCT経由) → 名神瀬田東IC → 約40分 → 佐川美術館
(湖周道路経由)

■ 鉄道・バスご利用の場合

JR堅田駅(湖西線) → 約15分 → 佐川美術館
 JR守山駅(琵琶湖線) → 約35分 → 佐川美術館

※バスの運行本数が限られておりますので、事前にご確認ください。

水庭にたたずむ美空間

佐川美術館は、佐川急便株式会社創業40周年記念事業の一環として、滋賀県・守山の地に開館いたしました。水庭に浮かぶようにたたずむ建物は、和の印象を重視した切妻造の2棟の平屋で、それ自体がアート。周辺の自然環境とも調和し、風景、建物、作品が一体感ある美しさを醸し出しています。

主な建築受賞歴

- '98 グッドデザイン賞
- '00 第41回BCS賞
- '00 日本建築学会作品選奨
- '07 第17回AACA賞
- '08 グッドデザイン賞
- '08 第36回日本建築士連合会賞 優秀賞
- '09 第50回BCS賞

施設概要

敷地面積/28,871.58㎡
 床面積/6,957.98㎡
 設計・施工/竹中工務店

館内には日本を代表する芸術家である日本画家の平山郁夫と彫刻家の佐藤忠良、陶芸家の樂直入の作品を展示。3人の巨匠の作品を一度に鑑賞できるたぐいまれな美術館です。
 ※展覧会の都合で常設作品の展示場所を変更いたします。

来館される皆様へのお願い

- 館内は「話し声」や「笑い声」が大変響きやすくなっています。他のお客様のご迷惑になりますので、静かにご鑑賞ください。展示室以外の場所でもできるだけ小さい声でお話してください。
- 作品及び展示物(額縁、展示ケースも含む)には、触れないでください。
- 展示室・茶室内での写真・ビデオ撮影は禁止です。
- 大きなお荷物は、コインロッカー(100円返却式)にお預けください。また、傘は館内に持ち込めません。
- 館内では、飲食(ガム・アメを含む)は禁止です。ペットボトルはバップにしまおうか、コインロッカーをご利用ください。
- その他、館内では係員のご注意をお聞きいただき、皆様が心地よく鑑賞できる環境作りにご協力ください。

茶室見学についてはホームページでご確認ください

COLLECTION ARTIST

平山郁夫 (1930-2009)

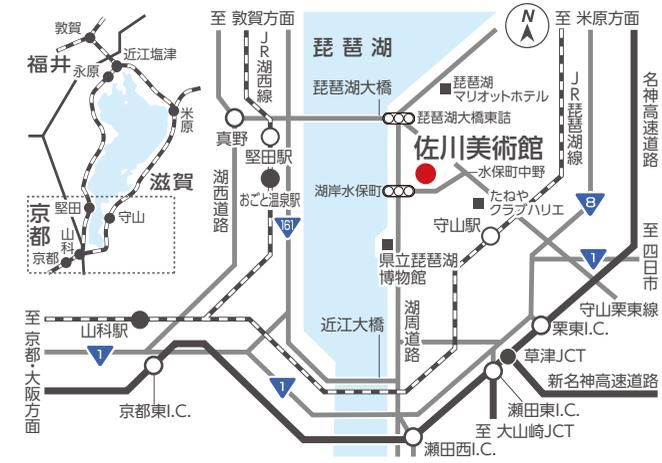
日本画家。広島県出身。東京美術学校(現・東京藝術大学)で前田青邨に師事。15歳の時に被爆し、後遺症に悩まされるなか「平和の祈り」を込めて画業を積み重ねる。玄奘三蔵の求法の旅を追体験し、「シルクロード」をはじめ「仏伝」シリーズなどの作品を手掛け、主に院展を舞台に創作活動を続ける。また「文化財赤十字構想」を提唱し、文化財保護活動にも奔走。日本人初のユネスコ親善大使を務めるなど多方面で活躍。

佐藤忠良 (1912-2011)

彫刻家。宮城県出身。少年時代を北海道で過ごし、絵画を学ぶために上京するが、ロダンやマイヨールなどに感銘を覚え彫刻家を志す。東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業後、新制作派協会(現・新制作協会)を舞台に活躍。終戦後のシベリア抑留生活の体験から、ごく普通の日常生活の中でほんの一瞬だけ垣間見る「人間の美」を追求した作品を多く手掛ける。1981年、パリの国立ロダン美術館で日本人初の個展を開催。

樂直入 (1949-)

陶芸家。京都府出身。樂家十四代覺入の長男として生まれる。1973年、東京藝術大学卒業後イタリアへ留学。覺入の没後、1981年に十五代吉左衛門を襲名。桃山時代に樂茶碗を造り出した初代長次郎以来、450年の歴史と伝統を継ぐ樂家十五代として、伝統に立脚しながらそこに安住することなく、常に斬新な感覚を示す造形美の世界を表現し続けている。特に「焼貫」の技法を駆使し、大胆な篋削りによる彫刻的ともいえる前衛的な作風が特徴。



佐川美術館
 SAGAWA ART MUSEUM
 〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891
 TEL. 077-585-7800 FAX. 077-585-7810
<https://www.sagawa-artmuseum.or.jp/>